

横浜環状北西線「労働安全衛生大会」を開催します！

～更なる工事事務防止と健康管理の取組みに向けて～

横浜環状北西線は、東名高速道路と第三京浜道路を結ぶ、延長約7.1kmの自動車専用道路です。

昨年9月に約3.9kmのシールドトンネルの掘削が完了するとともに、今年4月に全ての橋梁の桁架設が完了するなど、東京2020オリンピック・パラリンピックまでの供用開始に向けて工事を進めています。

北西線の工事は、安全を最優先に進めており、安全パトロール等、様々な取組を行っているところですが、更なる安全に対する取組の強化や意識の向上を図るために、首都高速道路株式会社及び横浜北労働基準監督署と連携して、労働安全衛生大会を開催します。

～労働安全衛生大会概要～

- 日時**
令和元年6月20日（木）
午後3時から4時30分まで（受付開始 午後2時45分）
- 場所**
横浜市歴史博物館 講堂
横浜市都筑区中川中央1-18-1
- 参加者**
北西線工事関係者 約150名
- 主催**
横浜市道路局
首都高速道路株式会社神奈川建設局
横浜北労働基準監督署
- 実施内容**
 - 働き方改革
 - 安全衛生確保



大会の様子（平成29年度）

※なお、取材していただける場合は、当日、直接会場にお越しください。

お問合せ先

道路局横浜環状北西線建設課設計施工担当課長 櫻井 暁人 Tel 045-671-2798